

少人数学級 予算案修正案

市民要望前進のために対案示す

日本共産党市議団の提案実現の！

高齢者施設等PCR検査

高齢者施設、障がい者施設の従事者に対するPCR検査が実現しました。ワクチン接種が完了するまで、だいたい2カ月に1回程度の頻度です。無症状で医師の判断なしでも受けられる社会的検査の必要性を訴えてきましたので一歩前進ですが、まだ不十分な所があります。入所者はもちろん、保育所や放課後児童クラブの職員にも必要ではないでしょうか。頻度も2週間に1回程度は実施するよう論戦で求めました。

子どもの医療費無料化が拡充

釧路市の子どもの医療費無料化制度は小学校入学前までで、近隣と比べてもとても遅れています。日本共産党が繰り返し提案したこと、入院のみですが18歳までの無料化が実現しました。しかし子どもが受診するのはほとんどが通院です。通院も無料化するよう求めていきます。

国保料引き下げ

現在、市内の国保料の平均額は一世帯年14万7368円。それが1219円引き下がることになりました。市議会で国保料引き下げを求める質問するのは日本共産党だけです。わずかですが、提案が実現しました。しかし、国保料は依然として高すぎます。引き続き、一般会計から繰り入れをするなどして、引き下げを求めていきます。



生徒会費が就学援助の対象に

現在、中学校の生徒会費は一人年1000、1500円かかります。収入が少ない家庭を対象に就学援助制度がありますが、生徒会費は自己負担となっていました。これからは就学援助を受けている家庭はこの負担がなくなり、一歩前進です。しかしPTA会費とクラブ活動費は今後も対象から外されました。義務教育は無償とすることが憲法で定められています。せめて就学援助の対象くらいはもっと広げるべきではないでしょうか。



「少人数学級 市独自に拡大を」せまる代表質問

昨年12月に国は、令和3年度から5年間かけて公立小学校の学級編成を35人に引き下げると発表しました。道も令和6年度までに35人以下にすることを明かしました。2月15日の衆議院予算委員会では、菅首相は「中学校についても、少人数学級の実施を検討する」と初めて明言しました。

工藤正志議員は代表質問で、「市独自で今後1～2年で35人学級とし、その後5年程度で30人学級になるように国に求めるべき」と質問。教育長は、「早期の実現をと思っており、今後国や道に要望していく」と答弁しました。

初の予算委員会に、共産党議員団は「修正案」を提出

令和3年度一般会計補正予算案の「新型コロナウイルス」対策として、「子どもの保育などに従事する人」への慰労金支給する修正案を提出。12月議会に、労働組合などの団体から「保育士等への慰労金を求める」陳情が提出され、その思いを確認しました。国は医療機関や介護施設などの職員に慰労金を支給しています。しかし、保育士などへの支給は、各自治体の判断です。道内では、札幌市・旭川市・函館市などが実施しています。そこで、議員団は、その方々の思いを実現すべく「補正予算の修正案」を出しました。

保育などに従事する人への慰労金を支給する「修正案」への賛否 (○：賛成、×：反対)

共産党	自民党	公明党	新創クラブ	釧路に新しい風	市民連合
○	×	×	×	×	×



釧路市議団だより

発行：日本共産党議員団 <http://jcpsigi.com/>
釧路市役所本庁舎2階 TEL・FAX 0154-23-5212

2021年
4・5月号



日本共産党
釧路市議団 HP

このチラシは政務活動費で作成しています

「前のめりに」

マイナンバーカードを推進する蝦名市政

「便利な（メリット）だけではありません」

政府は「健康保険証機能が加わり、マイナンバーカードがますます便利になります」と宣伝しています。本当に、便利になるのでしょうか？そこで、健康保険証として使えるマイナンバーカードの問題を「暮らしの視点」から明らかにしました。

一つは、全ての医療機関で使えるわけではないことです。鍼灸院・整骨院、訪問看護等ではマイナンバーカードが使えません。また、全国の35%の診療所、83%の歯科医院は、すぐに使用できないので、当面はカードと保険証の両方が必要です。

二つ目には、紛失した際、その手続きの煩雑さとかかる時間が違うことです。マイナンバーカードの再発行は「1カ月半程度」、紙の健康保険証は「その日に」発行できます。また、マイナンバーカードの場合、もし紛失したら、まず、警察署に行き「遺失届」、そのあと、顔

写真をもって市役所へ、そして、あらためて4種類のパスワードを設定します。しかし、紙の保険証を紛失しても、身分証明書をもって市役所に行けばOKです。

便利さだけを強調、令和3年度1億2千万円の

予算を計上し、マイナンバーカード普及に「前のめり」状態です。メリットだけでなくデメリットもあります。メリットだけを知らせて、あとは知らないではすみません。市民には正しい情報を提供することを求めました。



マイナンバーカード見本
総務省ホームページより

学校給食の無償化を!!

以前から無償だった白糠町、厚岸町に続き令和3年度予算から弟子屈町・浜中町・鶴居村で「学校給食の無償化」がスタートします。白糠町・浜中町は高校までの給食が無料になります。

子育て支援の一環で、釧路市でも安心して子育てできるように、工藤正志議員は「学校給食の無償化」を教育長に求めました。

教育長は、「全国で学校給食を無償化しているところは全体の

4・4%しかなく、否定するものではないが、全国的にはまだ大きな流れにはなっておらず、こうした動きを参考にしていきたい」と答弁しました。



特養老人ホームがたったの5床!

今議会では、特養老人ホームの新規整備計画が発表されました。今後3年間で8床、そのうち令和3年度中にはたったの5床しか整備されません。西村雅人議員の質問に対し、特養待機者は100人もいることが判明。これではいつになったら待機者がなくなるのか見当もつきません。待機者0にする気があるのかという追及に、市長はまともに答弁しません。市は「待機者を0にしてしまうと小さなホームの経営に悪影響がでる。大規模特養をつくると小さなホームから職員が異動してし

まう。」などというあきれた言い訳に終始。市長も「特養をたくさん造ると介護保険料アップにつながる」などと公的責任を放棄するような発言をします。市長は介護保険料を月210円下げたと自慢げに言いますが、今回の介護保険特別会計には、特養ホームの定員をたったの5人しか増やさない冷たい姿が見えてきます。西港開発には湯水のごとお金を使うのに、特養ホームの建設は国に頼んでくれという主張には道理がありません。

西港開発の行き詰まりと矛盾があらわ

西港は第5埠頭までの計画でした。いまは第4埠頭の東側まで整備しましたが、貨物量が増える見込みは大きく外れ、第5埠頭計画を撤回、第4埠頭の残りも手が付けられずにいます。

それなのに、毎年巨費を投じてしゅんせつ工事が行われていきます。令和2年度の補正分で6・7億円、令和3年度分で13・3億円です。しかも、これまで使ってい

たしゅんせつ土砂の埋め立て用地がいっぱいになって、新たな埋め立て用地が必要となるなど、工費は天井知らずです。

あわせて造成地の令和3年度の売却予定はなし。土地造成を行わず、売却益を見込まないシナリオの検討まで始めました。

西港開発は立ち止まって大幅に見直すときにきています。